

## あの時、検診を受けていなければ なかったこの命



Takashima Takao

**高島 隆夫** さん (72歳) 藤橋町

がん検診の受診率はとても低いと聞きます。多くの方は自分には関係のないこと、忙しくて検診になんか行く暇はないと思っているかもしれない。検診は1日あれば簡単に終わります。どんなに忙しい方でも、習慣として毎年必ず受けるべきです。たった一つの命は誰のものでもなく自分自身のものです。検診が私の命を救ってくれたように、皆さんの命も救ってくれるはずです。まだ受診していない方は必ず受診することをお勧めします。がんは待つてはくれないのですから。

もし、検診を受けていなかったら、今の私の命はなかったと思います。医師からも同じことを言われました。がんは自覚症状が出てからでは手遅れです。早期発見のためには定期的に検診を受けるしか方法はありません。

私は若い頃からバレーを続けていて、健康にも体力にも自信がありました。40歳代からは毎年1回のがん検診は欠かさずに受けており、結果も問題なし。そんな私の身に異変が起きたのは、平成12年(62歳)の時でした。

いつものようにがん検診の結果が手元に届き、中を見ると『要精密検査』の文字。自覚症状もなかったのに、軽い気持ちで近くの医院へ行きました。胃カメラでの

検査を受けた後、医師から告げられた言葉は予想外のものでした。「今すぐ家族を呼んでください」。妻と2人で説明を受け、医師の口から発せられた言葉に耳を疑いました。「恐らくがんです。がんセンターで詳しく細胞を検査しますが、間違いないと思います」と。突然の出来事に絶望感に襲われると同時に、その場で総合病院への入院の手続きをとりました。当時は『がんⅡ死』と受け止め、自分の命が残り少ないことを覚悟しました。

毎年欠かさず検診を受けていたことが幸いし、がんを早期に発見でき、胃を3分の2摘出したものの手術は成功。その後の検査でも転移がないことを聞き、心から命あることに感謝しました。

# 検診で救われた命

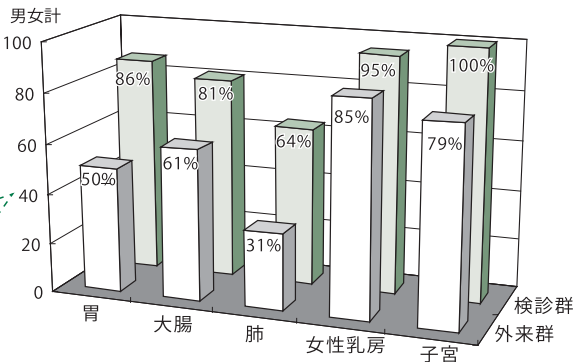
## 検診でがんが見つかった人は生存率が高い

「検診で発見されたがん」と「検診以外の外来受診で発見されたがん」に分けて、5年後の生存率を比較したグラフです。

出典：石川県におけるがん登録(平成18年標準集計・平成14年罹患患者生存率集計)


いずれのがんでも、検診で発見された方が5年後の生存率が高いことがわかります。特に胃・肺がんで生存率の差が大きく、肺がんでは2倍以上も差があります。がんは早期発見・早期治療が大切です！

### データから見る検診の重要性



◆がんが完治した人の多くは、  
定期検診を受診

## 早期に見つければ、かかる費用はこんなに違う!!




**医療費**  
約 175 万円  
5 倍以上の差

※実際の費用は状態により個人差があります。

**進行胃がんが見つかった Bさんの場合**

手術：開腹胃切除手術  
手術後：胃を切除したため、食事を少量ずつの1日5食にし、消化の良いものに変えるなど食事面での気づかいが必要となりました。その後、1年3カ月後に亡くなられた。



**医療費**  
約 32 万円


※実際の費用は状態により個人差があります。

**早期胃がんが見つかった Aさんの場合**

手術：内視鏡による胃粘膜切除手術  
手術後：定期的に通院し、検査・服薬を続けている。現在のところ再発の心配はほとんどなく、経過良好。今までと同様の生活を送られている。

### 20～30歳代に急増中 若い人ほど子宮頸がん検診を!

子宮頸がんは子宮の入り口付近にできるがんです。発症にはヒトパピローマウイルス (HPV) が関係しており、性交渉で感染します。このウイルスは性交経験のある80%以上の女性が一生に一度は感染するといわれているほどありふれたウイルスで、多くは自然に排除されます。しかし、一部の人は感染が持続し、がんが発症するといわれています。妊娠がきっかけで子宮頸がんが発見されることもめずらしくありません。若いからといって油断せず、20歳を過ぎたら2年に1回、定期的に検診を!



### 子宮頸がん検診・乳がん検診 無料クーポン券をお持ちの方へ

※特定の年齢の方に配布済みです。  
平成22年4月1日で  
子宮頸がん 20・25・30・35・40歳の方  
乳がん 40・45・50・55・60歳の方

この機会を逃さず、クーポン券を持ってお早めに検診会場へ!

【有効期限】  
子宮頸がん検診：11月30日(火)まで  
乳がん検診：11月28日(日)まで

### 『子宮頸がん検診』は指定医療機関でも受けられます【申込必要】

◆実施期間：11月30日(火)まで  
◆指定医療機関：▽桑原母と子クリニック▽恵寿総合病院▽けいじゅファミリークリニック▽公立能登総合病院▽山田産婦人科医院 (50音順)  
※自覚症状のある方や現在がんなどで治療中の方は、検診ではなく医療機関への受診をお勧めします。

※検診の詳細は、5月に各世帯あてに送付されているがん検診の案内をご確認ください。

※いずれの会場でも「特定健診」を同時実施しています。



私たち「健康まちづくり推進員」は、検診の受診勧奨や検診当日のお手伝いをしながら、会場で皆さんをお待ちしています!!

検診種類	対象者	個人負担金
胃がん検診	40歳以上	1,200円
大腸がん検診		800円
肺がん・結核検診		100円
喀痰検査	必要な方のみ	600円
結核検診	16～39歳	無料
前立腺がん検診	50歳以上(男性)	300円
乳がん検診	40歳以上(女性)	1,300円
子宮頸がん検診	20歳以上(女性)	900円(集団)
		1,300円(医療機関)

11月	10月	検診日	検診会場
28(日)	23(土)	七尾サンライフプラザ	七尾サンライフプラザ
14(日)	27(水)	田鶴浜さつき苑(子宮・乳がんなし)	
10(水)	能登島健康センター(子宮・乳がんなし)		
7尾サンライフプラザ	中島健康福祉センター(子宮・乳がんなし)		

受付時間：8:30～10:00

### 『集団検診』は残りあと5日【申込必要】

問 健康推進課 ☎ 53-3623